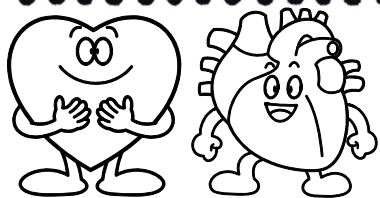


健康診断だより



心臓検診

血圧測定・心電図検査

心臓の音や動きから、心臓の病気や異常はないかを調べます。

検診の受け方

- ① コミュニティーホールに集合し番号順に整列。受付をし、血圧を測定する。
- ② 中会議室の前に移動し、ズボンの裾を 20cm ほどまくり、靴を脱ぎ、足首が出るように靴下を上げてから中会議室に入る。



男子は学ランとYシャツを教室で脱いで、上半身は指定のTシャツ1枚のみ。
(寒い場合はYシャツを着てきて良い。)
制服の裾をまくる。

靴下は足首が出るように下げる。
(または脱ぐ。)

女子は上下ジャージに着替える。ブラジャーは外し、上半身は指定のTシャツとジャージ。
下半身はタイツ・ストッキングを脱ぎ、ジャージの裾をまくる。

- ③ 中会議室内で上着を脱ぎ、上半身はTシャツ1枚になる。
- ④ 順番が来たらベッドに横になり、手首・足首・胸に電極をつけてもらう。心電図検査が終わるまで、力を抜いて動かないで待つ。



- ⑤ 終わった人から授業へ戻る。
着替えは休み時間に。女子は下着をつけてから戻っても良い。

心電図検査は痛くもないし、ピリピリもしません。安心して受けてください。

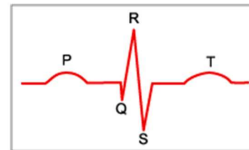


心電図とは？

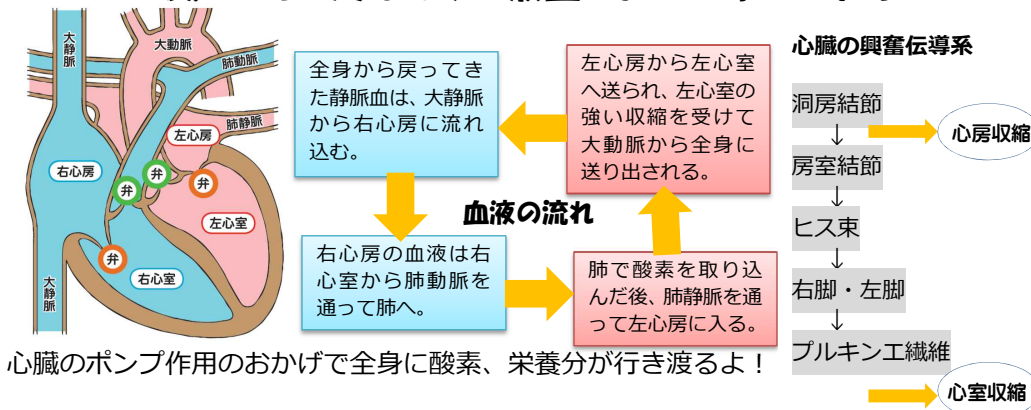
心臓は、全身に血液を循環させるため、1日に10万回の収縮と拡張を繰り返しています。心臓の筋肉が活動する際に、心筋細胞が発する活動電位を体表面からとらえ、波形であらわしたものが心電図です。

心電図検査で記録された波形はそれぞれP、QRS、Tと呼ばれています。P波からQ波の始まりでは、心房の収縮をあらわし、QRS波は心室の収縮、T波は心室の収縮の終了をあらわしています。

心臓の拍動が規則正しく行われていれば、一定のリズムで波形が出現しますが、まれに正常でもリズムの乱れが生じることがあり、さらに詳しい検査が必要になることがあります。



心臓が1日に送り出す血液量はドラム缶 40 本分！！



心臓のポンプ作用のおかげで全身に酸素、栄養分が行き渡るよ！

心臓検診で見つかる主な病気

期外収縮 (きがいしゅうしゆく)

心臓を動かす電気のリズム (脈) の異常によって起こります。脈が飛んだように感じたり、胸の不快感や動悸、めまいなどの症状があります。

脚 (きやく) ブロック

左右に分かれている心臓の部屋への信号 (電気の流れ) がうまく伝わっていない状態。右脚ブロック、左脚ブロックがあり、精密検査が必要です。

弁膜症 (べんまくしょう)

心臓には血液の逆流を防ぐために4つの弁膜があり、この弁膜が正常に動かなくなる病気です。動悸や息切れ、疲れやすいなどの症状があります。

- 一次検診の結果、二次検診が必要な生徒については、後日連絡します。
二次検診は5月24日(水)に行います。(開始時刻は未定)